

動物実験に関する自己点検・評価報告書

日本獣医生命科学大学

2024年 4月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程を定めている。
- 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・日本獣医生命科学大学動物実験規程
- ・日本獣医生命科学大学生命倫理委員会要項

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

日本獣医生命科学大学動物実験規程によって適正に運営された。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。
- 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会を設置していない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・日本獣医生命科学大学動物実験規程
- ・日本獣医生命科学大学動物実験委員会名簿

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

日本獣医生命科学大学動物実験委員会が設置されており、適正に運営されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・日本獣医生命科学大学動物実験規程

- ・日本獣医生命科学大学生命倫理委員会要項
- ・動物実験審査請求書（様式 1）
- ・動物実験計画書（様式 2）
- ・動物実験計画（変更・追加）申請書（様式 3）
- ・動物実験（終了・中止・経過）報告書（様式 4）
- ・動物実験の自己点検票（様式 2-1）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

日本獣医生命科学大学動物実験規程及び動物実験マニュアルによって適正に運営された。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・日本獣医生命科学大学動物実験規程
- ・日本獣医生命科学大学生命科学総合研究センター共同研究室管理運営要綱
- ・日本獣医生命科学大学生命科学総合研究センター共同研究室内指定実験室利用要項（指定実験室利用要項）
- ・日本獣医生命科学大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関するマニュアル
- ・日本獣医生命科学大学病原体等安全管理規程
- ・日本獣医生命科学大学病原体利用実験に関する管理マニュアル
- ・日本獣医生命科学大学遺伝子組換え実験に関する管理マニュアル
- ・指定実験室使用申請・承認書（別紙様式 1）
- ・指定実験室使用終了届（別紙様式 2）
- ・BSL2 病原体等取扱届（別紙様式 3）
- ・BSL3 病原体等取扱申請・承認書（別紙様式 4）
- ・BSL2、BSL3 病原体等移動（受入）・分与（譲渡）届（別紙様式 5）
- ・特定病原体等取扱申請・承認書（別紙様式 6）
- ・特定病原体等移動（受入）申請・承認書（別紙様式 7）
- ・特定病原体等分与（譲渡）申請・承認書（別紙様式 8）
- ・特定病原体等分与（譲渡）依頼書（別紙様式 9）
- ・特定病原体等廃棄届（別紙様式 10）

- ・バイオハザード標識（別紙様式 11）
- ・学校法人日本医科大学組換え DNA 実験安全管理規則
- ・組換え DNA 実験従事者登録申請書（様式 1）
- ・組換え DNA 実験計画書（兼、第二種使用等拡散防止措置確認書）（様式 2）
- ・組換え DNA 実験従事者登録解除申請書（様式 3）
- ・組換え DNA 実験承認申請書（様式 4）
- ・組換え DNA 実験届出書（様式 5）
- ・組換え DNA 実験計画変更（申請・届出）書（様式 7）
- ・組換え DNA 実験施設設置申請書（様式 9）
- ・組換え DNA 実験施設改廃承認申請書（様式 10）
- ・組換え DNA 実験施設設明細書（別紙（様式 9・10 用））
- ・遺伝子組換え生物の供与届出書（様式 13）
- ・第二種使用等拡散防止措置確認申請書（別記様式（第 9 条関係））

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・日本獣医生命科学大学動物実験規程
- ・日本獣医生命科学大学生命倫理委員会要項
- ・日本獣医生命科学大学生命科学総合研究センター共同研究室管理運営要綱
- ・日本獣医生命科学大学生命科学総合研究センター共同研究室内指定実験室利用要項（指定実験室利用要項）
- ・日本獣医生命科学大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関するマニュアル
- ・動物実験審査請求書（様式 1）
- ・動物実験計画書（様式 2）
- ・動物実験室（設置・変更）申請書（様式 5）
- ・動物飼養保管施設（設置・変更）申請書（様式 6）
- ・施設等（動物実験室・動物飼養保管施設）廃止届（様式 7）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

生命科学共同研究室および共同研究室以外の動物飼養保管施設と管理責任者について動物実験委員

会によって把握されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当なし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・日本獣医生命科学大学動物実験規程
- ・日本獣医生命科学大学生命科学総合研究センター共同研究室管理運営要綱
- ・日本獣医生命科学大学生命科学総合研究センター共同研究室内指定実験室利用要項（指定実験室利用要項）
- ・日本獣医生命科学大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関するマニュアル
- ・動物実験計画実施結果
- ・動物実験委員会議事録
- ・教育訓練資料
- ・学内動物飼養保管施設及び生命科学共同利用施設における1日当たりの動物飼養数調査資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験規程及び動物実験マニュアルに基づき、適正な委員会活動を実施している。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・日本獣医生命科学大学動物実験規程
- ・日本獣医生命科学大学生命倫理委員会要項
- ・動物実験審査請求書（様式1）
- ・動物実験計画書（様式2）
- ・動物実験計画（変更・追加）申請書（様式3）
- ・動物実験（終了・中止・経過）報告書（様式4）
- ・動物実験の自己点検票（様式2-1）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験計画書の立案、審査、承認が適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・日本獣医生命科学大学動物実験規程
- ・日本獣医生命科学大学生命科学総合研究センター共同研究室管理運営要綱
- ・日本獣医生命科学大学生命科学総合研究センター共同研究室内指定実験室利用要項（指定実験室利用要項）
 - ・日本獣医生命科学大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関するマニュアル
 - ・日本獣医生命科学大学病原体等安全管理規程
 - ・日本獣医生命科学大学病原体利用実験に関する管理マニュアル
 - ・学校法人日本医科大学組換え DNA 実験安全管理規則
 - ・日本獣医生命科学大学遺伝子組換え実験に関する管理マニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・動物実験計画書（様式 2）
- ・実験動物飼養保管施設報告届（様式 8）
- ・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2）
- ・日本獣医生命科学大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関するマニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管マニュアルに基づき適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

日本獣医生命科学大学生命科学総合研究センター共同研究室及び学内動物飼養保管施設の施設使用状況調査および視察結果の資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

生命科学共同利用施設及び学内に分散する動物飼養保管施設において適正な維持管理が実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・教育訓練資料…「利用マニュアル」
- ・教育訓練受講者一覧

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物管理者、動物実験実施者、飼養管理者（本学教員、学生および外部委託業者）などに対して教育訓練（動物実験及び生命科学総合研究センター共同研究室利用者講習会）を実施した。また管理者および実験動物管理者の中から3名が日本実験動物学会の実験動物管理者研修を受講した。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・日本獣医生命科学大学動物実験規程
- ・動物実験の自己点検票（様式 2-1）
- ・実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2）

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

本年度に実施された全ての実験について動物実験（終了・中止・経過）報告書（様式 4）が提出された。自己点検・評価作業は速やかに行われ、日本獣医生命科学大学動物実験規程、日本獣医生命科学大学における実験動物の飼育施設、飼養保管及び動物実験に関するマニュアルと共に、日本獣医生命科学大学ホームページに公開予定。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

（1）日本獣医生命科学大学動物実験委員会の構成（令和 6 年 3 月時点）

獣医学部・応用生命科学部の常勤教員 10 名

（2）令和 5 年度日本獣医生命科学大学動物実験計画申請書の審査件数

申請件数：158 件、承認件数：148 件、非承認件数：0 件、審査中 1 件、取り下げ件数 9 件